

もりや里山新聞

6/30

【土曜日】

発行

守谷里山ネットワ



一・守谷市内の各地で子供 の田植え

(一)第十五回3小学校合同田

植え(立沢里山)

寒暖の差が激しかった今年の春も田植えシーズン到来です。恒例の北守谷地区3小学校五年生(松前台小69名、大井沢小92名、

御所ヶ丘小59名)による田植えが、立沢里山において平成三〇年五月十一日(金)に開催されました。前日まで雨模様が続きましたが、どうなるかと気をもんでいましたが、当日はよく晴れてやや暑くなり、まさしく田植え日和となりました。しかし、湿地内の田んぼ周辺はぬかるみ、集合地も大変でしたが、徒歩集合の皆さんは全員それも承知のよう準備万端です。松前台小の総合同会のもと大井沢小による開会宣言があり、立沢里山の会

会長と市農業委員会会長から、この田植えの目的や田植えまでの準備、苗の植え方、注意事項等についてご説明をいただいた後、早速作業に入りました。子供たちにとって、最初の準備はOKでも、泥田で深いため、苗を植

田植えとしてはかなりきついこのような状況下であっても、先生や仲間の助けを借りつつ作業を進める生徒さんたちの生き生きとした表情がとても印象的でした。また、当日は丁度マルバヤナギの花粉が飛散している中での作業でしたが、全員が帰った後は再び静かな田園風景に戻りました。

最後に御所ヶ丘小による閉会宣言で今年の田植えも事故なく無事終わり、次は秋の収穫を楽しみに解散しました。

生徒さんたちは足がなかなか抜けず、転んで泥だらけになっても懸命に苗を植え進んでくれたおかげで、作業は全小学校とも一時間ほどで終了しました。

— 目次 —

1. 守谷市内の各地で子供の田植え (立沢、同地)
2. 守谷市民大学「環境基本計画と市民活動」講義
3. 春の自然観察会
4. 市民活動連絡協議会の総会開催
5. ままもり「木育×すく育」イベント
6. 立沢里山で田の草取り魚採り



ボランティア募集
あなたと一緒に楽しみましょう!

守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール denen21@hb.tp1.jp

ホームページ [「野に集い野に遊ぶ」](http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html)

<http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>

三春の市役所周辺を歩く

平成30年4月28日(土)に生涯学習課主催の自然観察会が開催されました。今回は駐車場南側の土手から図書館裏を経て高速道路沿いを歩き、広い屋敷林の集落、大柏里山付近、林床整備林等を観察して市役所に戻るコースです。

参加者は小学生を含め総勢23名。飯島さん(市生涯学習課)と飯田先生(植物担当、県自然博物館)から、挨拶、本日のコース、駐車場にそびえるアメリカカパー等についての簡単な説明を受けたあとスタートです。そして野鳥関係については池田先生(小さな鳥の資料館)及び昆虫関係については石塚先生(つくばみらい市富士見ヶ丘小学校)からご指導をいただきました。



キンラン



エゾノギシギシ



ジュウニヒトエ



カイコノ原種

広い屋敷林を見ながら進むと、立派な生垣に遭遇し構成樹種の多さにびっくりです。いくつか挙げてみます。

市役所土手では黄色の小さな花をいっぱいつけたコメツメクサが群落をつくり、図書館裏ではキンランがきれいな黄色の花を咲かせていました。高速道路沿いでは、タツナミソウやニガナ、サルトリイバラ、コウゾリナ、オヤブニンジン等が精いっぱい春を満喫していました。そして、屋敷林近くの小々な畑周辺ではノゲシ、オニノゲシ、葉の幅が広いエゾノギシギシ(幅約20cm)、見かけるのが少なくなったジュウニヒトエ、カラズビシヤクなどが目に留まりました。

すと、ケヤキ、ムクノキ、チャ、シロダモ、マユミ、シラカシ、マテバシイ、ナンテン等で、確認できたものだけでも約15種ありました。さらに進んで谷津沿いではウグイスやコジュケイの出迎えを受けながら歩くと、カイコの種類に初めて接することができました。

次いで、大柏里山近くの湿地では赤い実ができないオヘビイチゴが群落を作り、土手ではアキカラマツやワレモコウなどが成長しつつありました。林床整備林の道路沿いでは再びキンラン3株に出会いましたが、前日の事前調査では大きいのも含めて6株はあ

ったとのことで多分に半分は盗掘されたようです。市役所近くになったところでは、赤い実が甘くておいしいと言われるウグイスカグラや蕾をいっぱいつけたマユミ、雄花が垂れ下がっているイヌシデも確認されました。

以上まとめると、植物ではキンランはブナ科とキノコなどの菌類との共生で育つこと、鳥類ではサシバ、カケス、オナガ等20種が確認されたこと、昆虫類では春一番のモンシロチョウ(年4回発生)がいなくなり、南方から飛来してきたナガサキアゲハやツマグロヒヨウモンなどが確認されたことが報告されました。さらに、参加された小学4年の男子生徒さんの植物に詳しいことには皆さん、驚きと感嘆しきりでした。(南記)



オヘビイチゴの群落



ウグイスカブラ

四. 守谷市民活動連絡協議会の総会開催

六月二日(土)市民活動支援センターにおいて市民活動連絡協議会の総会が開催されました。今年新規加入した5団体を含めて、登録団体は約八八団体となり盛会でした。

団体交流のボランテニア・カフェ、来年の茨城国体を盛り上げるための「花いっぱい運動」などが新規事業として提案されました。役員の



改選時期となり新たに古橋会長ほか十二名の役員が選出されました。その後、分野ごとのチームにおいて意見交換が行われました。

五. ままもり「木育×すく育」

六月十五日(金)十七日(日)にかけて、「子育てネットワークままもり」が主催し、

六月十五日(金)十七日(日)にかけて、「子育てネットワークままもり」が主催し、イアアスつくばにおいて「木育×すく育」のイベントが開催されました。一階センターコートの「木のおもちゃ広場」は東京おもちゃ美術館のキャラバンで多彩なおもちゃを体験できるものですが、大勢の



市長なども登場し、盛り上がりま

六. 立沢里山「田の草取り」

五月に田植えされた田んぼの稲は順調に育っています。六月二三日(土)子供たちと田んぼの草取りや魚採りを行いました。午前九時頃には各学校から児童と先生が集合し、立沢里山の会のメンバーと一緒に田んぼに入って草取りです。



親子来客で入場制限するほどでした。二階イアアスホールの「子育てフェア」は団体ごとのブース出店で、木製の「マイ箸」や椅子などの手作り体験や、地元のゆるキャラ、つくば

をタモなどで捕獲し、水槽で名前などの説明を受けました。メダカ、モツゴ、タモロコ、このほか、「ウシガエル」のオタマジヤクシの大きさには皆が驚きました。また、真剣にザリガニ釣り取り組みました。



真剣にザリガニ釣り

当日捕獲した小魚やザリガニは次週に行われる転入者歓迎行事「ようこそ守谷へ」において、水槽展示やザリガニ釣り体験で出番が待っています。

【編集後記】

守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。

(守谷里山ネットワーク)